

<p>めざす学校像</p> <p>①生徒が楽しく、存在感を実感できる学校 が美しく、安心・安全な学校</p> <p>③基礎学力や「生きる力」を身につけさせ進路を保障する学校 と共に成長し、保護者・地域から信頼される学校</p> <p>○めざす生徒像</p> <p>①すすんで挨拶・掃除ができる生徒 をもち、学習や行事等に生徒同士団結し、真剣に取り組みむ生徒</p> <p>③差別を見抜き、差別を許さない、たくましい実践力のある生徒</p> <p>有用感を高め、コミュニケーションを培う生徒</p> <p>○めざす教師像</p> <p>①生徒に「リハ」(優しく・温かく)をもって接する教職員</p> <p>②協調・</p>	<p>課題</p>	<p>今後の改善方策</p>
<p>重点目標</p> <p>指標(取組指標・成果指標)</p> <p>「箱崎」ノートを活用し家庭学習の定着を図る。(成果指標: 提出率90%以上)</p> <p>度に応じた個別指導の内容と方法について全職員で検討</p> <p>・アタライズ・ラーニングを全教科で取り入れ、全学級で授業公開を行う。(取組指標)</p> <p>年間を年3回以上行い、評価表を活用した授業改善を行う。(取組指標)</p>	<p>学力の向上</p> <p>不登校生徒の未然防止 と解消</p>	<p>全学級で目標を達成できた。</p> <p>・各学年で、休み時間や放課後に補充学習を行っている。特に3年生でその成果が大きかった。</p> <p>・アタライズ・ラーニングを全教科に取り入れることができた。しかし、授業公開が全学級では出来なかった。</p> <p>・職員相互の授業参観は、初任者研修等を活用して行った。しかし、年間の計画にきちんと位置付けた計画的なものとならなかった。今後、年間計画の中にきちんと位置付ける。</p>
<p>○わかる授業の創造と家庭学習の充実</p> <p>○不登校を未然防止、解消する取組の推進を図る。</p>	<p>学力的な向上</p> <p>不登校生徒の未然防止 と解消</p>	<p>計画的に講師等も招聘し、研修を行うことができた。また、授業研究も行った。</p> <p>・講師を招聘し、分析についての研修を行い、不登校未然防止のためのより適切な支援ができるようにした。</p> <p>・個々に応じた進路を目指す支援計画を作成し、継続的な支援を行うことで、昨年度不登校生徒15名の内、4名の生徒が学校復帰を果たした。</p>
<p>○活カある生徒指導体制の確立を図る。</p>	<p>学力的な向上</p> <p>不登校生徒の未然防止 と解消</p>	<p>生徒会を中心に、自主的な活動を計画的に行うことが出来、学校全体が落ち着いていく。生徒指導委員会をより組織的にし、報告・連絡・相談を密に行ったことで、全職員による組織的な指導ができた。</p> <p>・計画的に外部講師を招聘した講演会を開催することが出来た。</p>
<p>「主体的・対話的で深い学び」を具現化していくために、生徒が主体的に学習に取り組めるような授業を工夫してほしい。また、若い先生が多くなる中、板書や発問などの授業の基本となる部分も大切にしてほしい。</p> <p>不登校生徒への適切な指導で、4名が学校復帰を果たしたことは評価できる。今後も継続して、取り組みを進めてほしい。特に卒業後の進路を見据えた指導が必要である。学校は落ち着いた状態にあるが、家庭環境など生徒にとって教育環境が十分保障されていない家庭もある。主任児童委員も含めた地域や関係機関と連携して支援態勢を整えていくことが必要である。</p>	<p>学力的な向上</p> <p>不登校生徒の未然防止 と解消</p>	<p>生徒会を中心に、自主的な活動を計画的に行うことが出来、学校全体が落ち着いていく。生徒指導委員会をより組織的にし、報告・連絡・相談を密に行ったことで、全職員による組織的な指導ができた。</p> <p>・計画的に外部講師を招聘した講演会を開催することが出来た。</p>